

保健学科教育学修プログラム

検査技術科学専攻

令和8年度 前期

4年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

保健学科検査技術科学専攻 4 年次目次（前期）

区分		授業科目名	科目責任者				
選択	専門科目	医療コミュニケーション	深田美香	:	1	～	2
必修	専門科目	血液診断学	臼井真一	:	3	～	4
必修	専門科目	臨地実習	臼井真一	:	5	～	6
必修	専門科目	課題研究（前）	杉原誉明	:	7	～	8

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は令和5年度入学者を基準としています。

※専門科目については、課程表を確認してください。

科目コード／Subject Code	M7416002
ナンバリング／Numbering	MXCOM3001
科目名／Subject Name	医療コミュニケーション
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	深田 美香, 古澤 有峰, 安部 由紀, 河月 稔, 南前 直都, 服部 多恵, 中條 雅美, 佐藤 研吾
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	月 1
単位区分／Unit Classification	必修または選択必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	深田 美香（基礎看護学）アレスコ棟106 古澤有峰（基礎看護学）アレスコ棟 中條雅美（成人・老人看護学）アレスコ棟 安部由紀（地域・精神看護学）アレスコ棟 服部多恵（母性・小児家族看護学）アレスコ棟 河月稔（生体制御学）アレスコ棟 佐藤研吾（病態検査学）アレスコ棟
オフィスアワー／Office Hours	月曜日2限 事前に連絡をお願いします。
担当教員への連絡方法／Contact Details	深田美香 アレスコ棟1階 106室 TEL：0859-38-6306 E-mail：mikafkd@tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要／Course Description and Outline	【目的】 医療従事者に求められるコミュニケーションについて考察し、人間関係を構築するために必要な知識や技能を習得する。 【概要】 検査技術科学専攻と看護学専攻の教員によって、医療に関わるテーマに添った講義・演習を行う。
キーワード／Keywords	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省、倫理
到達目標／Objectives	医療従事者として、患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために、必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を修得することができる。
他の科目との関連／Prerequisite	臨地実習や臨床実習と関連するため、その体験を通して自己の課題を見出すことに繋がり、学習が深まります。また、これからの臨地実習や臨床実習に、本講義での学びを活かすことで、コミュニケーションスキルが向上することが期待できます。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	各講義時に、資料を配布する
授業の形式／Classwork	講義（オムニバス形式）
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	各回の授業最後に、テーマに沿ってレスポンスシート（10点満点）を記載し提出する。80点（10点×8回）を100点満点に換算し評点とする。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	実習での体験を想起しながら改めてコミュニケーションについて考えてみましょう。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する講義・演習を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/6(月)1時限]【121講義室】	多職種連携とコミュニケーション	予習：臨床検査技師や看護師が、どのような職種と、どのような場面で連携協働しているのかを整理する。復習：多職種での連携協働のために、自身はどのような点を意識して他の職種とコミュニケーションを行うのかまとめる。	【担当者】基礎看護学・南前 直都
2[4/13(月)1時限]【121講義室】	医療現場のコミュニケーション	予習：自分のコミュニケーションの傾向を振り返る。復習：ロールプレイの振り返りをレポートとして提出する	【担当者】成人・老人看護学・中條雅美
3[4/20(月)1時限]【121講義室】	医療者としてのコミュニケーション：何を、どう伝えるか？どう伝わるのか？	予習：今までのコミュニケーション場面を振り返り、医療現場に求められるコミュニケーションのあり方について考察してくる(30分)。復習：授業を振り返り、学びについてのレポートを作成する(1時間)。	【担当者】母性・小児家族看護学・服部 多恵
4[4/27(月)1時限]【121講義室】	医療現場における異文化背景をもつ患者とのコミュニケーション	予習：言語が通じない人と出会った時のことを振り返っておく。海外へ行ったことのある人はその時のことを思い出し、自分がどのような気持ちになったか思い出しておく。復習：異文化背景をもつ患者さんに医療従事者として不安を軽減できるような対応能力を習得するにはどうしたらよいかを考える。可能であれば、それを実行する。	【担当者】地域・精神看護学・安部由紀
5[5/7(木)1時限]【121講義室】	認知機能低下者とのコミュニケーション	予習：認知機能や認知症の行動・心理症状について予習する。復習：配布資料を用いて復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔
6[5/11(月)1時限]【111講義室】	医療説明（疑似体験）	予習：事前に配布する資料を予習して下さい。復習：病院実習期間中に意識して下さい。	【担当者】病態検査学・佐藤研吾
7[5/18(月)1時限]【111講義室】	比較文化・研究法から考える「健康・医療・コミュニケーション」	予習：事前に配布する資料に目を通しておく。復習：授業後に配布資料も参考に復習する。	【担当者】基礎看護学・古澤 有峰
8[5/25(月)1時限]【111講義室】	「病の語り」と共感性再考	予習：「共感」について自分の考えを整理する。復習：「病の語り」を通して考えたことをまとめる	【担当者】基礎看護学・深田美香

科目コード／Subject Code	M7512106
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	血液診断学
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	臼井 真一, 下廣 寿
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 2
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	0.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	臼井 真一（病態検査学）：アレスコ棟4階434号室 下廣 寿（病態検査学）：アレスコ棟4階441号室
オフィスアワー／Office Hours	下廣 寿：月曜日12：00～13：00（左記以外でも在室していれば概ね可、気軽に訪ねて下さい）
担当教員への連絡方法／Contact Details	下廣 寿：E-mail: h-shimo@tottori-u.ac.jp、TEL: 0859-38-6382 メールで連絡する場合、件名に科目名、本文に学籍番号・氏名を必ず記載してください。
授業の目的と概要／Course Description and Outline	血液疾患を診断するための検査・結果解釈を理解する。 検査結果より病態を推測する。
キーワード／Keywords	血算、骨髓、FCM、R-CPC
到達目標／Objectives	臨地実習先で、どのようなところに視点を置いて検査値の妥当性を考えるかを理解する。
他の科目との関連／Prerequisite	病態血液学（3年・前期） 病態血液学実習（3年・後期）
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	最新臨床検査学講座 血液検査学 第2版 医歯薬出版、奈良信雄 他編、2024
授業の形式／Classwork	対面講義授業
成績の評価方法と基準 ／Assessment	小テスト・受講態度：100%で評価する。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	臨地実習先での検査結果確認に活かして下さい。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、人間力（自律性に基づく実行力）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床検査に実務経験がある担当者が、専門分野に関する指導をする。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/6(月)2時限] 【 211講義室】	血算の読み方・考え方/ キーワード ：CBC、病態把握	関連する教科書を読んでおくこと。講義 後には自主的に当該内容に関する医療・ 検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】病態検査学・ 下廣 寿／（対面可：対 面、対面不可：パター ン3遠隔(リアルタイム学 習)）
2[4/13(月)2時限] 【 211講義室】	骨髄検査とその補助/ キーワード：骨髄 穿刺、骨髄生検、ベットサイド	関連する教科書を読んでおくこと。講義 後には自主的に当該内容に関する医療・ 検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】非常勤講師・ 山下 典子／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン3遠隔(リアルタイム学 習)）
3[4/20(月)2時限] 【 211講義室】	FCMと細胞表面マーカー/ キーワード ：造血器腫瘍、スキッタグラム、ゲー ティング	関連する教科書を読んでおくこと。講義 後には自主的に当該内容に関する医療・ 検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】非常勤講師・ 畑山 祐輝／（対面可 ：対面、対面不可：パター ン3遠隔(リアルタイム学 習)）
4[4/27(月)2時限] 【 211講義室】	造血器腫瘍（R-CPC） / キーワード：病 態把握、基準値	関連する教科書を読んでおくこと。講義 後には自主的に当該内容に関する医療・ 検査情勢の把握に励むこと。	【担当者】病態検査学・ 下廣 寿／（対面可：対 面、対面不可：パター ン3遠隔(リアルタイム学 習)）

科目コード／Subject Code	M7512108
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	臨地実習
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	白井 真一, 吉村 武, 岩田 浩明, 下廣 寿, 上田 悦子, 石黒 尚子, 藤原 伸一, 中川 真由美, 杉原 誉明, 松下 倫子, 高村 歩美, 河月 稔, 森 徹自, 伊藤 大輔, 高田 美也子, 佐藤 研吾, 加藤 雅彦
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5, 木 1, 木 2, 木 3, 木 4, 木 5, 金 1, 金 2, 金 3, 金 4, 金 5
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	12.0
準備事項／Matter of Prepare	1～3年次に学習した基本内容をよく復習し、理解を深めておくこと。実習は病院内で実施するため、服装や身だしなみをしっかり整えて準備しておくこと。
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	白井（アレスコ棟4階 434室）
オフィスアワー／Office Hours	月曜日1限
担当教員への連絡方法／Contact Details	usuis(at)tottori-u.ac.jp（白井）へメールで連絡ください。件名に科目名、本文に学生番号・氏名を必ず記載すること。
授業の目的と概要／Course Description and Outline	医療現場を実際に見学・体験し、検査現場における臨床検査の特徴や役割を認識する。これまで習得してきた知識や技術がどのように業務に反映されているかを理解する。現場での学びを通し、医療者としての倫理と責任を修得し、自覚をもつ。
キーワード／Keywords	一般検査, 血液検査, 生化学・免疫検査, 輸血検査, 生理検査, 微生物検査, 病理検査, 基準値, 医療情報, 精度管理, メンテナンス作業, 患者検体, 医倫理, チーム医療
到達目標／Objectives	・各臨床検査の業務と検査内容を理解する ・各臨床検査の原理を理解し、検査結果の解釈ができる ・臨床検体を適切に取り扱うことができる ・各臨床検査に関する基本的手技ができる ・検査時の危険防止や緊急時対応の理解の他、患者への適切な接遇や対応ができる ・チーム医療における臨床検査の役割と意義を理解する ・各種自動機器の立ち上げ、操作、保守、終了操作の重要性について理解する ・日常検査機器の精度管理方法を説明できる
他の科目との関連／Prerequisite	これまでに学習したすべての科目が関連する。
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	教科書：各検査部門の指導者や担当教員が指示する。 参考書：基礎および臨床のすべての教科書が対象になる。 臨床検査技師 臨地実習ハンドブック. 市野直浩・坂本秀生・藤田孝 編（医歯薬出版, ISBN978-4-263-22699-5）
授業の形式／Classwork	実習形式（6～7名が1グループとなって、各検査部門をローテートする）
成績の評価方法と基準／Assessment	評価基準書により、実習に取り組む姿勢、態度、手技力、知識を評価する（90%）。レポート等の課題（10%）
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	欠席は原則、認めない。厳に慎むこと。白衣（スクラブ）、服装は清潔なものを着用すること。現場担当者の指示に従い、勝手な判断で行動しないこと。実習に不要な物品は検査室へ持ち込まない。実習中に知り得た患者情報を外部に持ち出したり、SNS上などに発信してはいけない。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	①技能修得到達度評価を実施する（2週）。4/1（火）～4/10（金）。標準12誘導心電図検査、スパイロメトリー、血球計算検査、血液塗抹標本作成・鏡検、尿定性試験紙法、尿沈渣検査、ABO血液型検査、RhD血液型検査、Gram染色、無菌操作、分離培養、患者接遇、検体確認、身だしなみ、手指衛生、顕微鏡調整。 ②附属病院（検査部、輸血部、病理部、放射線部、薬剤部、消化器内科）と学外病院検査部を利用して実施する（14週）。4/13（月）～7/31（金） 1～5時限（月曜日は3～5限）。8/3以降に補習を実施する場合がある。詳細日程や病院担当者については「臨地実習マニュアル」を参照すること。 【予習(1.5h)】：実習テーマに関連する教科書、参考書を参照し、勉強したことを箇条書きにまとめること。各検査部門の指示に従って実施すること（臨地実習マニュアル参照）。 【復習(1.0h)】：当日の実習概要・要点等をまとめるなど、復習に励むこと。各検査部門の指示に従って実施すること（臨地実習マニュアル参照）。
教育グランドデザインとの関連／Educational Grand Design	現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、人間力（多様な環境下での協働力）
ディプロマ・ポリシーとの関連／Diploma Policy	健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有

実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	実務経験を有した専門の医師，臨床検査技師，看護師等が指導に当たる。
--	-----------------------------------

科目コード／Subject Code	M7511061
ナンバリング／Numbering	MCRES4701
科目名／Subject Name	課題研究（前）
英文科目名／Subject English Name	Thesis Work in Laboratory Science
担当教員／Teacher Name	杉原 誉明, 吉村 武, 岩田 浩明, 鯉岡 直人, 下廣 寿, 上田 悦子, 石黒 尚子, 加藤 雅彦, 藤原 伸一, 浦上 克哉, 中川 真由美, 松下 倫子, 高村 歩美, 河月 稔, 森 徹自, 伊藤 大輔, 高田 美也子, 下田 有紀, 白井 真一, 佐藤 研吾
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	2.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	加藤雅彦（教務担当）・アレスコ棟432号室
オフィスアワー／Office Hours	グループにより異なる。
担当教員への連絡方法／Contact Details	各グループの担当教員へメールで連絡。
授業の目的と概要／Course Description and Outline	未知の疑問点や問題点を、自ら解決するための姿勢、技術、能力を身に着けるために、各グループで研究を行う。
キーワード／Keywords	研究、科学、論理的思考
到達目標／Objectives	未知の疑問点や問題点を、自ら解決することができるようになる。
他の科目との関連／Prerequisite	これまでの講義・実習で得た知識、技術を駆使して、研究を遂行する。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	グループにより異なる。
授業の形式／Classwork	研究
成績の評価方法と基準 ／Assessment	各グループの責任教官が、授業態度、レポートなどにより評価する（100％）。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	各担当教員の指示に従う。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	各担当教員の指示に従う。
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、人間力（自律性に基づく実行力）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	研究歴がある教員が、その経験を活かして専門分野に関する研究指導をする。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1～90[別途指示]	神経系の発生に関する研究／【キーワード】ゲノム、mRNA、タンパク質、免疫組織化学	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】生体制御学・森／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	検査データ・画像から学ぶ医療AIの基礎／【キーワード】人工知能、創薬、バイオインフォマティクス、化合物スクリーニング	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】生体制御学・岩田／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	神経発達症に関わる分子メカニズムの研究／【キーワード】神経細胞、神経発達症、分子生物学、タンパク質	配布された資料を読んで、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】生体制御学・吉村／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	分子シミュレーションによる生体高分子の構造・機能解析／【キーワード】分子動力学シミュレーション、構造バイオインフォマティクス、タンパク質、Linux	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】生体制御学・藤原／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	栄養に関する研究／【キーワード】公衆栄養、糖尿病予防、食品成分	配布された資料を読んで復習し、課題内容を理解する（1時間）。結果をまとめてノート等に記録する（1時間）。	【担当者】生体制御学・上田／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	認知機能、身体機能に関する疫学研究／【キーワード】認知症、フレイル	配布された資料を読んで復習し、研究内容を理解する（1時間）。研究結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】生体制御学・河月／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	耐性獲得リスクの低い新規マラリア治療薬の開発／【キーワード】寄生虫、マラリア	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】病態検査学・伊藤・高田／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	カフェインの夜間睡眠中血圧や早朝血圧への影響／【キーワード】PSGなど医療機器の装着・解析、医療統計	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】病態検査学・加藤・佐藤／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	リボ蛋白質の分析法や代謝に関する研究／【キーワード】文献検索、実験計画、データ解析、研究報告、口頭発表	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】病態検査学・白井／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	クラウドシステムを活用した細胞診パッチャルスライド教育・学習システムの構築／【キーワード】臨床経過、臨床的疑問点、肉眼所見、組織所見、直接死因	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】病態検査学・杉原・松下／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	PCR法を用いた遺伝子多型解析／【キーワード】遺伝子多型、STR、SNP、識別能	配布された資料を読んで、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】病態検査学・中川・石黒／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	リアルワールドデータを用いたバイオマーカー探索／【キーワード】生活習慣病、造血器腫瘍、統計解析	配布された資料を読んで復習し、実験内容を理解する（1時間）。実験結果をまとめてノートに記録する（1時間）。	【担当者】病態検査学・下廣／（対面可：対面、対面不可：別途指示）
1～90[別途指示]	現状と展望を学ぶ。研究としては機械学習による認知症個別化検査方法の確立 アルツハイマー型認知症の髄液・血液を用いた診断マーカーおよび病態解析の研究を行う。／【キーワード】アルツハイマー型認知症、機械学習、バイオマーカー	課題として与えられたテーマを学習し発表する（2時間）。実験結果についてはまとめてノートに記録して復習する（1時間）。	【担当者】認知症予防学・浦上・下田／（対面可：対面、対面不可：別途指示）